

湯沢商工会議所工業部会報

No.1



湯沢商工会議所工業部会

部会長 大原 孝 浩

平素より湯沢商工会議所工業部会へ多大なご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年9月より部会長職を務めさせていただいております。微力ではございますが、誠心誠意、工業部会運営のために邁進してまいりますので、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、現在の日本経済に目を向けますと、長きに渡るコロナ禍から社会経済活動の再開も進み、消費マインドも回復基調にあります。エネルギーや原材料の価格高騰、さらに為替変動の影響など経営を取り巻く環境は激変し、先行き不透明な状況が続いております。この湯沢市におきましても、次世代を担う若年層の市外流出が加速し、人材不足が深刻な課題となっており、市内の工業にも大きな影響を受け、大変厳しい状況となっております。

このような状況にある中で、円滑な部会運営を行うていく上では、会員の皆様との連携強化を図ることが必須でありますので、会員企業約130社の力を結集し、工業部会の持つ特性を最大限に引き出しながら、この難局を乗り越えてまいりたいと考えております。

今般、湯沢市の「物づくり」を支えている各会員企業の活動や取り組みを知っていただく「湯沢商工会議所工業部会報」を発刊することとなりました。この部会報を大いに活用していただき、各企業が今まで以上に連携・親睦を図り、各事業の発展に寄与できることを深く願っております。

今後とも会員の皆様のご指導、ご協力を仰ぎながら、地域の諸問題の解決に向け最善を尽くしてまいりたいと考えておりますので、なお一層のご理解とご支援を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。発刊にあたっての挨拶とさせていただきます。

秋田県醗酵工業株式会社

代表取締役社長 大原 孝浩

当社は湯沢市内雄物川沿いに位置し、主に焼酎「そふと新光」「あいぼろ」や清酒「一滴千両」等の製造販売を行っている酒類メーカーです。焼酎や清酒以外にも、梅酒などのリキユールや「秋田杉ジン」などのスピリッツも取り扱っており、幅広い年齢層や嗜好に対応できるカテゴリーを有していることが当社の強みと考えております。家飲み需要も定着し、近年では、「秋田サワー」や「秋田杉ジンハイボール」など、家庭でも手軽に飲めるRTDが大好評いただいております。

秋田にはお米を中心に多くの良質な自然の恵みがあります。秋田の自然の恵みをお酒にする「秋田の名産品と一緒に味わうお酒を造る」、そして、お酒を通じて秋田を盛り上げていくことを第一に事業展開をしております。

また、従業員が自分の時間を作りやすい制度の導入や、女性が仕事と家庭を両立し、生き生きと社会で活躍できる職場環境の整備など、将来を見据えた企業づくりを推進しております。



秋田エプソン株式会社

代表取締役社長 遠藤 正敏

①会社概要

所在地： 秋田県湯沢市岩崎字

壇ノ上一番地

従業員数：1282名

※内訳 正規 782名

準社員 173名

外部 281名

(令和5年/8月現在)

②事業内容

・プリンター用ヘッド製造

(ヘッド組立・部品製造)

・ウオッチ製造

(ムーブメント・完成品組立)

・医療用検査装置製造

※セイコーエプソン(株)子会社

※現在新棟建設中

目的 インクジェットプリンター

ラインナップ強化及びヘッド外

販拡大のためのヘッド製造工場

拡張

竣工予定日 12月22日

操業開始 2024年1月

③地域貢献事業の一例

・犬っこ祭り、七夕絵灯ろうまつり

への参加 企画提案



Orbray株式会社

代表取締役社長 並木里也子

8月1日より旧TDK跡地にオーブレイの新工場を稼働致しました。外装はレコード針やサファイヤ基板などをモチーフに「切る、削る、磨く」Orbrayの技術力を表現したデザインにしました。また名称をOrbray「TRAD」とし、1967年の湯沢工場操業時からの製品を生産、伝統的を意味する「TRADITIONAL」から名付

け、現在従業員は80名でスタジオ。バンド・サファイヤガラスなど時計用外装部品、レコード針の増産に対応する計画。今後は、新工場に近い市の工業団地の空き区画など取得し、本社工場を新設する計画。



秋田銘醸株式会社

代表取締役社長 京野 學

近年VUCA時代と言われておりますが、社会情勢に対応する組織づくりの第一歩として、二〇二一年十一月「男女いきいき活動推進室」を社長直轄の部署として立ち上げました。

社内風土の変革を目的とし現状把握するため、アンケートBOXを設置し末端の声を拾いながら、ハラスメント対策や女性活躍推進に着手しました。

さらに社員一人一人の生産性向上と働きがいのある職場づくりを目指し、外部講師に委託。専門的知識の提供をいただきながら「心理的安全性」を重視した管理職のマネジメント手法やアサーティブコミュニケーションスキルを中心としたセミナーを開催。また並行して、弊社相談役による「清酒セミナー」を開催し、全社員が日本酒スキルを基本から学び直す機会を設定し、自身の知識とコミュニケーションの質向上に努めています。

お酒は日々の潤いをもたらすものであり、その職業に携わっている社員自身がいきいきと働ける幸せな職場であってほしいと願っております。

男女いきいき活動推進室

(佐藤 留美子)



秋田木工株式会社

代表取締役 風巻 穰

一九一〇年の創業以来、日本で唯一「曲木」の技術を専門として一〇〇年以上の歴史を築いて参りました。「曲木」とは、一八四〇年頃ドイツ人デザイナーのミヒャエル・トネットによって発明された無垢の木材を高温で蒸して鉄型にはめ、曲げる技術のこと。ほとんどのものが機械生産となりつつある現代にあえて手間のかかる手作業にこだわり、今もなお不朽のスタイルとして、その存在を示し続けています。

現在、秋田木工で働く職人は六二名。二〇代の若手から七五歳のベテランまでが「木が木で立っていた時よりも美しく・・・」という信念のもと、肩を並べて作業しています。本来の木の姿から想像もつかないほど劇的に変化している曲木家具。木の性質を熟知した職人だからこそ生み出せる技の結晶とも言えます。美しさと実用性を兼ね備えた曲木家具は、名だたるデザイナーにも愛され、名作とも呼べる

数々の作品を共に作り上げてきました。これからも伝統を大切にしながら、時代のニーズに合ったこだわりの曲木家具を作り続けて参ります。



有限会社石孫本店

取締役 石川 耿一

安政2年創業の(有)石孫本店は、手造りの仕込み方法と地元産原材料にこだわった味噌醤油造りを続けています。

麴蓋で麴をつくり木桶による熟成を行っている蔵元は、全国でも希少となっております。醸造文化を守り継承することを家訓としながら、国登録有形文化財である仕込み蔵や内蔵など歴史的建造物を保存活用し、「昔ながらの醤油屋風情」を後世に残したいと考えています。また、秋田県の発酵文化拠点施設として、インバウンド観光を含め国内外からの見学を受け入れています。蔵内見学をはじめ味噌ボールづくり体験や煎餅焼き体験など様々な体験メニューをそろえ体験型観光に対応出来る施設整備を行いました。味噌醤油に加え、みそたまり・塩麴・味噌スプレッドなどの味くらべもお楽しみいただけます。



有限会社 伊藤漬物本舗

代表取締役 伊藤 明美

「漬ける」と「燻す」

伝統を守り新しいを創る

この地で漬物製造業を始めて約60年、時代の変化に応じた物づくり中心掛けています。

当社にとって大切なのは「人」と「技術」です。

今ある素材にどんな魔法をかけて新しい商品を作り上げていくか毎日試行錯誤をしておりますが、それが一番楽しい時間です。

長い間B to Bを柱に作った商品は卸問屋への流通のみの経営でしたが、昨年からはB to Cを取り入れ直営店舗を昨年の12月に東京南麻布にオープンさせました。

まだ生まれてのお店ですが、漬物や湯沢の特産品お酒など、食べて飲んで買いたい物もできる欲張りなお店です。

今後は自社直営店の展開を視野に入れ「わくわく楽しい」物づくりの環境を整えていきたいと思っております。



株式会社 奥山印刷所

代表取締役 奥山 忠平

創業大正7年、湯沢雄勝の皆様方のご支援により今年で百五年になりました。

朝ドラ「らんまん」の主人公榎野万太郎が石版に絵を描いていた石版印刷の技術は、当社でも扱っております。その後、活版、オフセット、オンデマンドと印刷技術は時代と共に進化してきました。パソコンの普及により個人で文章画像をプリントできるようにになり、SNSなどのWEB環境も充実し、AIの時代となっても、企画・デザインされたポスター、パンフレット、周年誌、チラシなど、紙面を通して解りやすく伝えることは昔も今も変わらないようです。

これからも地域の皆様方に喜んで頂ける総合印刷所として努力してまいりますので、ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。



SINCE 1918

リンゴ絞り器から発想の初代プレス印刷機

株式会社 木村酒造

代表取締役社長 米山 忠行

創業者木村治郎左衛門、豊臣家の忠臣木村重成の子孫。以来400余年秋田湯沢の地で酒造り一筋の歩みを続けています。江戸時代には、当主が銘醸地伊丹に赴き、酒造技術を学んだ後、現地から杜氏を招いたほか、山形県の大山から杜氏を招くなど、当時としては類い稀な技術導入を行ってまいりました。一九一一年博覧会での進歩一等賞をはじめとして、近年ではIWC二〇一二最高賞チャンピオン・サケ受賞、二〇一八年東北清酒鑑評会吟醸の部最優秀受賞、KuraMaster二〇二一純米酒部門最高受賞、二〇二二年まで9回連続で全国新酒鑑評会金賞受賞など国内外から高い評価を得ています。一九九五年に(株)東北新社の傘下に入り、二〇〇〇年4月同じく(株)東北新社のナショナル物産(株)と合併し木村酒造事業部となつた後、二〇一三年5月分社により株式会社木村酒造として今日に至っています。



株式会社 くらた

代表取締役 倉田 潤一

弊社「株式会社くらた」は湯沢の地にて一八五三年(嘉永六年)より、お菓子を作り続けて参りました。

五代目の時代から販売しております弊社の看板商品「おぼこナ・ひでこナ」「千秋苑」は販売から50年以上が経過しますが、未だ多くの方々からご愛顧をいただいております。この場をお借りし感謝申し上げます。

また、昨今の原材料、光熱費等様々な価格の高騰により、弊社商品をご愛顧いただいております皆様におかれましては大変なご迷惑をお掛けしております事、お詫び申し上げます。

弊社の信条として、「原材料へのこだわり」がございます。戦時中は砂糖が入りできなくなり、代替の砂糖も使うことができたが、弊社は一時廃業致しました。

そんな先代の精神を受け継ぎ、原材料へのこだわりを持ち、真摯に菓子作りに取り組みで参りますので、今後とも、変わらぬご愛顧いただきませうようよろしくお願い申し上げます。



株式会社チバ・テクノ

代表取締役社長 千葉 克徳

チバ・テクノは、抵抗器、放電加工用のワイヤー及びパイプ電極の開発・製造・販売を行っています。当社製品は一般の目にはつきにくいものですが、日本のものづくりを支える仕事をしています。

当社の大電力型抵抗器は、社会を支えるインフラ設備、産業用機械設備、エレベーター、エスケーター、大型クレーンや各種工作機械に基幹部品として組み込まれています。また放電加工ワイヤー電極とパイプ電極は、家電商品、携帯電話などのデジタル機器、自動車部品やボディなど、様々な製品の金型製作や高精度の金属加工に使用されています。

企業理念に「構想力」「未来」「顧客満足」を掲げ、顧客満足度の高い製品を提供し、蓄積した技術の組み合わせにより新分野へ挑戦しています。

当社製品は一般の目には、つきにくいものですが、これからも日本のものづくりと、皆様の生活を支える製品を供給してまいります。



有限会社松井木工

代表取締役 松井 靖

当社は、昭和5年に湯沢市にて創業した特注木製家具製造の木工所です。現在の代表は、都内の企業で6年の修業を経て1984年より稼業の木工所を引き継ぎ平成15年に有限会社松井木工を設立。

オーダー家具専門として県内外はもちろん、地元企業のオフィスや福祉施設、商業施設、飲食店や東京などの一流ホテルやミッドタウン、ヒルズといった大手不動産会社の複合ビルにも製品を納めています。若手採用にも意欲があり、将来的に求め続けられる業種として日々邁進しております。



敷地内に5年前に建てた事務所棟

両関酒造株式会社

代表取締役 伊藤 康朗

両関酒造株式会社の前身は、七代目 伊藤仁右衛門により、明治7年(1874年)に創業されました。

その祖先は、戦国時代末期頃に加賀の国(現在の石川県)から往来したと伝えられています。創業当初から蔵外から杜氏を入れることなく技術者を自ら育成し、県外のお酒に品質で負けないよう血のじむような技術研鑽がなされました。そして九代目の頃には技術やノウハウを積極的に開放し、両関流が各地域に伝わり、東北以外の寒冷地にも影響を与えたとされています。

これまで「両関」から「銀紋」「雪月花」が生み出され、現在は地酒銘柄として「花邑」「翠玉」も醸しています。酒の品質の向上を第一義としながら湯沢の酒蔵として地元根ざした活動をしています。



蔵が現在の形になったのは大正13年(1924年)。現在は国の登録有形文化財となっています。

情報交換会を開催します!

この度、工業部会では左記の日程で、情報交換会を開催いたします。会員皆様の参加お待ちしております。

【開催日】令和5年10月24日(火)

14:30 湯沢ロイヤルホテル集合 (バスで移動)

15:00 OrbreY(株)新工場見学

16:00 石孫本店見学

17:30 情報交換会

(湯沢ロイヤルホテル)

※正式なご案内は後日郵送いたします。

編集後記

当所工業部会では、各会員企業の様々な活動や各企業ならではの取り組みを知っていただくための事業の一環として、部会報を作成しました。今後も継続的に年一回、九月頃の発刊を予定しておりますので、その際には会員皆様のご寄稿のご協力よろしくお願いいたします。

【問合せ先】

当所工業部会担当 ☎73-6111

湯沢商工会議所工業部会報

No.2



湯沢商工会議所

副会頭 上野悦子

日頃より商工会議所へのご理解とご協力、また工業部会へのご支援も賜り御礼申し上げます。

商工会議所内で、この工業部会の担当をしております副会頭の上野です。まだまだ湯沢におけます企業様について知識不足ではございますが、大原部会長や役員の方々と共に少しでも工業部会を盛り上げていくことができればと思っております。よろしく願います。

昨年9月には「工業部会報No.1」の発行で13企業様の紹介を掲載させていただきましたが、いかがでしたでしょうか。「名前は聞いたことがあるけれど、何をしているのか具体的には知らなかった」、また、「改めてそうだったのかと知ることができた」という方もいらっしゃると思います。短い文章の中にそれぞれの企業の思いが語られていましたよね。私自身も大変勉強になりました。

また、昨年は企業訪問と情報交換会を工業部会として企画し、10月24日に実施されました。これもまた同じ地域で会社を営んでいる皆様には興味深いものがあったかと思えます。「忙しくて参加したくてもなかなか行くことは難しい」という方もいらっしゃるかと思います。今年も企画する予定になっておりますので、興味のある経営者の方また社員の方でもかまいません。ぜひ参加してみてください。

この度「工業部会報No.2」が発行されることになりました。今年も13企業様にご協力いただきまして、会社紹介を掲載しております。共に地域で生き、共に地域を盛り上げていく仲間として読んでいただくと幸いです。

株式会社 秋田研磨工業

代表取締役 阿部 忠雄

創業当時から高級腕時計のサブアライクリスタル、半導体関連、精密部品を製造して参り、創業40年に近づいております。社員及び地域の皆様には、敬意を表するところで。弊社の最大の特徴は難研削の研磨加工を高品質及び数十年間納期遅れゼロという、他社では例のない企業努力を行っております。計画的に生産されユーザー様にご迷惑を掛けない生産体制で製品を供給しております。

これらを軸に新商品開発で、高級万年筆 KEMMA を商標登録し、日本、アメリカ、ヨーロッパ(イギリス、フランス、スイス、ドイツ)で特許を取得し販売網を拡大させました。

またゴルフパターでは実用新案を取得し、「KEMMA」が商標登録されました。

未来にむけて安定した経営を進めていけるように日々研究開発に努力し、常に挑戦し続けております。



株式会社 稲庭うどん小川

代表取締役社長 小川 博和

伝統を継承し世界へ…リブランディングで挑む革新への道

稲庭うどん製造を行っており、国内外のお客様へ商品をお届けいたします。創業以来、伝統技術と時代の嗜好の融合を目指しており、2019年には新たな挑戦として、「TENOBENOVATION」プロジェクトを立ち上げ、ブランドの再構築を図りました。企業理念である「美味しいおどろきと幸せな会話を食事に届け、日常生活の中に豊かな体験を紡ぐ」をモットーに、日々最高の稲庭うどん作りを追求しています。現在は36か国に輸出、2年後には50か国拡大を目標に、更なる準備を進めています。今後も、伝統を守りながらも革新を追求し、国内外のお客様に稲庭うどんを通じて、豊かな食体験を提供してまいります。



エドモンド・オプティクス・ジャパン 株式会社

代表取締役 テイモシー・ポール・ケネディ

米国ニュージャーシー州に本社を置き、日本現地法人にあたる当社は、東京に国内営業拠点、湯沢工業団地に工場があります。高精密球面レンズの製造で50年以上の経験がある秋田工場は、世界8ヶ国にある製造拠点の中でも、ガラス製のレンズやプリズム、フィルター製造に関して主力工場となっています。航空・宇宙、ロボットなどに使われる産業用、さらに近年はPCR検査機用の光学部品をはじめとする医療分野においてのシェアを拡大し、製品の約98%を海外へ輸出しています。

産業用だけでなく、インターネット販売も行っており、HP上に掲載した3万点を超える商品の中からご購入いただけます。業界最高水準の製品づくりで、愛される光学製品メーカーを目指し、さらなる成長を続けます。



株式会社 寛文五年堂

代表取締役社長 岡部 君香

当社は「いなにわ手絢うどん」、「いなにわそうめん」の製造・販売をしております。機械に頼らず、ほとんどの工程を手作業で行っており、気温・湿度など、日々の異なる環境に合わせて、微妙に配合を変えています。いつでも最高品質の稲庭うどんを作るために、三五〇年間受け継がれてきた伝統の製法で、毎日、職人たちが丹念に手作りしています。「乾麺」の製造・販売はもちろんですが、他店にはない「生麺」も製造・販売しています。乾麺はツルツルとした喉越しを、生麺はコシが強くモチモチとした食感をお楽しみいただけます。稲庭にある「本店お食事処」と、秋田市にある「エリアなかいち秋田店」で二種のうどんの食べ比べをご堪能いただけます。

これからも伝統の製法を守りながら、食で人と人を繋ぎ、食を通して、秋田を明るく元気にしていく企業を目指します。



協和精工株式会社

代表取締役 鈴木 豪

私も協和精工は1963年の創業以来これまで、切削工具と腕時計の製造を通し、たくさんのお客様に育てられ技術を磨いてまいりました。

腕時計事業は湯沢市皆瀬に製造拠点を置いています。この皆瀬地区は、世界的に有名な腕時計の生産地であるスイスのジュラ山脈の小さな村々と環境や気候が良く似ており、腕時計の製造に最適な場所です。2005年にこの地名を用いたブランド名MINASEを自社ブランド製品としてデビューさせ、現在ではスイスを始めとした欧州や、シンガポールなどの東南アジアにも販路を拡げております。

これまでに築き上げた技術力と開発力に加え、創造力と発想力にも磨きをかけ、皆様にご満足いただける製品をお届けできるメーカーに成長出来るよう夢に向かって挑戦し続けてまいります。



合資会社 佐藤製パン所

代表社員 鈴木 昌宏

当社は湯沢市杉沢の国道沿いに位置し、主に学校給食のパンを製造し、それぞれの学校に届けるという事を約40年近く続けて参りました。ですが、地域の少子化そして光熱費の高騰により、給食関係のことから離れてしまいました。ですが、「またあのパンが食べたい」「懐かしいあの味はもうやらないのか」との声が上がりパンの製造を再開致しました。現在では、スーパーや道の駅に販売したり、老人ホームの施設の利用者様への食事としても作らせていただいております。皆様、地域の方々がまたうちのパンを食べて貰えるよう心を込めて製造して参りますので今後ともよろしくお願いいたします。



Instagramのアカウント
@satouseipan0824



株式会社 TAKASSE

代表取締役 上野 定之
執行役員 上野 佑太

当社は本年より社名を高瀬電設よりTAKASSEへと変更をしました。35年間電力向けの製品を多く手掛け作り上げてきた技術をより多くの業界へ広げていく。また、これからの会社を担っていく若い社員がイキイキと活躍できる会社へ変革していく。この二つの決意をもとに社名を変更しました。社名の他、社服と経営理念の見直しも20〜40代の社員で構成したプロジェクトで検討して決定をしました。若い社員がこれからの会社を考え、より良くしていこうと考えた時間は当社の未来に向け、とても価値のあるものとなりました。

今後はTAKASSEとして、経営理念にある

「人と製品と地域に優しい企業」を目指し、更なる挑戦して参ります。引き続きのご指導をよろしくお願致します。



高茂合名会社/ヤマモ味噌醤油醸造元

代表社員 高橋 泰

幕末の江戸末期、創業者・高橋茂助が能恵姫伝説の残る皆瀬川の伏流水から醸造業を興し、七代に渡り150余年醸造を続けています。2012年海外貿易を開始し、翌年GOOD DESIGN賞受賞。10年に渡る試験醸造から魚介のうま味・コハク酸と11%アルコールの醸成など複数の効能を持つ「Viamve® 酵母（特許第7138354）」を発見し、2020年日本醸造学会発表、革新的商品群を開発。蔵元に残るレガシーを捉え、FACTORYSTORE restaurant ASTRONOMICA® 庭園・迪楽園茶室・幽玄席、I.L.A.GALLERYを整備。ガストロノミーと歴史遺産(登録有形文化財:当蔵全域および本家・高橋七之助邸)が融合するデザイナーズアーを実装し、米国ラグジュアリー旅行誌Condé Nast Traveller 2023掲載。

本家七代・七之助と四代・茂助が歴代町長として行つた社会改革を承継し、産業改革から地域再生を目指しています。



合資会社 寺田印刷

代表 寺田 勇吉
専務 寺田 純二

弊社は、活版印刷からの起業となり、時代の流れに柔軟に対応し地域貢献に努めて参りました。

弊社では業界の動きに伴い、アナログからデジタルに、紙媒体だけでない情報発信力強化に方向性を変え業態変革に取り組んでおります。まずは環境第一に重点をおき『脱炭素社会』に貢献できるようにCO₂排出量、省電力化の機械を入れ替えお客様ニーズに応えられる経営をしております。

また、印刷業務だけに限らず『人をつなげ、仕事をつなぐ』新たな事業『Join』を立ち上げ地域が元気になるよう精進して参ります。今後ともご交誼のほどお願い申し上げます。

デザインから看板修理・施工まで
看板・印刷・WEB制作支援
チラシ・パンフレット etc
のぼり・日陰看板 etc
トータルサイン etc
カーラッピング
始めました!!
お気軽にお問い合わせ下さい
PRINTSHOP 寺田印刷
〒012-0053 秋田県横手市湊町5-1-21
TEL 0185-72-4127 FAX 0185-72-4128
HP http://terada-print.co.jp/
E-mail terada-print@terada.co.jp
※のぼりをご持参の方は印刷代10%サービス致します。(5,000円以上の高麗製)

有限会社 中野木工

代表取締役 中野 敏之

昭和初頭に祖父が「中野挽物製作所」として創業したと伝えられています。その頃は主にお盆や茶びつなどの挽物を製造し、様々な場所に売りに出ていたと聞いています。その後、父の代に「中野木工所」となり、椅子やテーブルなどの製作が主流となり、事業所の隣にあった秋田木工株式会社からの仕事も受注して参りました。昭和54年に現在の二井田掘ノ上に移転となり、平成16年より「有限会社中野木工」として継続して参ります。現在は、オフィスや商業店舗向けの特注家具の製作を軸に営業しております。

当社の特徴としては、先の事業の変遷の背景から無垢材の加工から化粧板での加工などにも対応し、かつ、木工旋盤での加工にも対応している点です。その他、自社製品の開発・製造・販売にも積極的だったこともあり、現在も少量ですが、自社製品の開発を継続しております。

今後もお客様の要望や、時代のニーズに対応しながら、活動を継続していけるよう頑張りたいと思っております。



株式会社 ロイヤルパーツ

代表取締役 京野 學

株式会社ロイヤルパーツは、ドローンや電動バイクに用いられるモーター部品や産業用ハーネス、FA機械の組立、除菌製品、カーケミカル、融雪関連製品を製造する会社です。エネルギーハーベスティング技術の応用製品の企画開発、評価にも力を入れています。キャンプ場の天然温泉の露天風呂に設置している照明用電源設備（画像）や、足湯照明（画像）、温室促成栽培用のLED電源として熱電変換技術の応用実績があり、県内大学・公設試と連携をとりながら様々な分野への応用を探っています。従業員は全員地元での直接雇用で男女の割合は半々、20代〜70代までの幅広い年代層で活躍しています。



照明用電源設備▶

足湯照明▼



株式会社 YGF

代表取締役 長澤 弘樹

弊社は創業開始以来30年以上縫製業に携わってきました。将来的に大ロット・低コスト生産は海外生産に推移していくことを見越し、20年以上前からコレクションブランドを扱うようになりました。分社化して湯沢市に拠点を増やし、特殊加工技術を付加価値とした製品作りに努めています。

商品を製作する工程の中で、自動化できる作業を独自に考案し、未経験の方でも短期間で戦力になれるように日々努力を惜しまず、クオリティーの高い商品を生産し、メーカー様からの信頼を勝ち取り、エンドユーザーの細かなニーズに配慮される製品作りを目指し、ここ湯沢市に貢献したいと思っております。



合同会社わかさ菓子店

代表社員 若狹圭一朗

「御菓子処わかさや」は現在7代目を中心となり湯沢地域内外の皆様へ「食べて安心する和菓子作り」をテーマに製造販売をしております。現在の上皇様が湯沢へいらした際に献上した「がんじき」や菅義偉元総理も召し上がった「ポテト饅頭」などお土産にもぴったりの話題性のあるお菓子も好評を頂いております。

最近では新商品の開発や販路拡大に注力しており、昨年より販売開始となった羽後町の西馬音内盆踊りの踊り子をイメージして作った「羽後のおどり娘」や五輪坂温泉としとらんど様と共同で作成したオリジナル饅頭「としとらんど饅頭」など湯沢雄勝地域の皆様だけではなく、県外から観光にこられた皆様に喜んでいただけるお菓子の製造販売を心掛けております。

また地域の皆様に楽しんでいただくため、介護施設、支援施設、企業への移動販売も始めました。ぜひご利用ください。

これからも皆様へ安心安全をお届けできるよう努めて参ります。今後とも変わらぬご愛顧いただきまますようお願い申し上げます。



事業所視察並びに
情報交換会を開催します！

昨年度に引き続き、工業部会では左記の日程で、事業所視察並びに情報交換会を開催いたします。部会員同士の交流を深めてもらう良い機会ですので、お誘いあわせの上、是非ご参加ください。

【開催日】令和6年10月29日(火)

14:00 湯沢グランドホテル集合

(バスで移動)

14:30 (株)稲庭うどん小川見学

15:45 (株)秋田エプソン見学

17:30 情報交換会(懇親会)

※湯沢グランドホテル

※正式なご案内は後日郵送いたします。

編集後記

当所工業部会では、年一回会報を発行しております。

第二号を発行するにあたり、ご寄稿のご協力をいただきました会員皆様に心より御礼申し上げます。

今後とも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。